

阪神タイガース Women

たかはし ゆうな
高橋 結央さん (20歳)

背番号

24

◆ ポジション 捕手
◆ 投打 右投右打
◆ 身長 161cm

湯沢市出身。湯沢西小学校4年時に地元のスポーツ少年団で野球を始める。稲川中学校卒業、学校法人創志学園クラーク記念国際高等学校(仙台キャンパス)に進学。スポーツコース・女子硬式野球専攻の第1期生となり、3年間正捕手として活躍、2度の全国大会準優勝に大きく貢献した。履正社スポーツ専門学校北大阪校の女子硬式野球チーム『履正社RECTOVENUS』を経て、2023年、阪神タイガース Womenに入団。

チャンスは必ず掴み取る

「野球を始めたきっかけを教えてください。」

兄が野球をする背中を見て、自分もやりたいと思ったのがきっかけです。祖父も野球経験者であり、抵抗はありませんでした。家族からは野球の楽しさと厳しさを教わりました。

「県外の高校に進学することに迷いはなかったのでしょうか。」

進学を考える時期、仙台の高校に東北で初めて女子硬式野球部ができたことを知りました。プロ野球と提携していて、よりレベルの高い環境で野球ができることに魅力を感じ、進学を決意しました。

「野球の魅力はどこなところでしょうか。」

どのスポーツでも共通なことかもしれませんが、練習でチームメイトとの絆を深め、また、ライバルとしての競い合うことで切磋琢磨し、試合では勝つ喜び、負ける悔しさを知りました。野球を通じて多くの方と出会い、人として成長できたと思います。野球との出会いがなければ今の私はありません。野球ができる環境を与えてくれた両親に感謝しています。

「高橋さんのストロングポイントは何？」

1番の強みは、バッティングです。ホームランに期待してください。また、私は肩が強いので、投手に「ラ

ンナーを背負っても、高橋が捕手であれば盗塁できない」という安心感を与えられることができます。

「今後の目標を教えてください。」

1試合でも多くスタメンで出場したいです。自分のストロングポイントを監督に認識してもらい、さまざまな場面で生きる選手になります。

「故郷湯沢に対する思いや、後輩に対してのメッセージをお願いします。」

湯沢市での野球人口が少なくなっていると感じました。湯沢市出身の私が活躍することで、野球に興味を持つ子どもたちが増えることを切に願います。

そして今頑張っている後輩たちへ。「チャンスを掴むための努力は惜しまない。必ず掴み取る」

これは私が大切にしている言葉です。練習は嘘をつきません。日々の練習を悔いなくやり抜いた選手のみ、チャンスを掴むことができると信じています。



▲佐藤一夫市長がオンラインで高橋さんと対談を行いました。